

2019年度（一社）日本形成外科学会 小児形成外科分野指導医認定試験

（お願い）

座席の指定はありません。

前方から順に着席してください。

試験時間 16:00 ~ 16:30

1. 誤りはどれか。 2つ選べ。

- a) 脳萎縮に伴う小頭症は知能障害を伴う
- b) 頭囲拡大の原因としては巨脳症が最も多い
- c) 平均より 2SD以上の頭囲を頭囲拡大という
- d) 頭血腫 (cephalhematoma) は新生児にみられる
- e) 頭蓋縫合早期癒合に伴う小頭症は脳実質の異常を伴うことが多い

2. 口唇口蓋裂で正しいのはどれか。

- a) 黒色人種に最も多く発生する
- b) 口蓋裂手術による顎発育への影響はない
- c) 発生学的に、口蓋裂は口唇裂より早期に生じる
- d) 口唇口蓋裂はすべて常染色体劣性遺伝形式をとる
- e) 治療に際し多くの専門家によるチーム医療が重要である

3. 小耳症について正しいのはどれか。

- a) 通常7-8才で手術を行う
- b) 使用する肋軟骨は第Vから第VIII肋軟骨であることが多い
- c) Goldenhar症候群を伴う小耳症では再建耳介が収縮することがない
- d) 術後合併症として環軸椎亜脱臼（回旋位固定）を考慮する必要がある
- e) 外耳道狭窄・閉鎖は伴わない

4. Robin シークエンスについて正しいのはどれか。
2つ選べ。

- a) 必ず口蓋裂を伴う
- b) 巨口症を合併する
- c) 下顎骨延長術を行うことがある
- d) 両側耳介変形を伴う
- e) 舌根沈下により気管切開することがある

5. 足趾の先天異常について誤りはどれか。

- a) 下肢は上肢に比べてやや遅れて肢芽が発生する
- b) 多趾症は軸前性が多い
- c) 合趾症は第Ⅱ、第Ⅲ趾間に多く認められる
- d) 第Ⅳ趾短縮症の治療時期は思春期以降に行われる
- e) 巨趾症は臨床的にstatic typeとprogressive typeがある

6. Nuss法による漏斗胸治療後の合併症に関し正しいのはどれか。

- a) 合併症としては血胸が最も多い
- b) 血胸の原因としてはバーによる肺の圧挫からの出血が多い
- c) ペクタスバーによる金属アレルギーに関し術前のパッチテストは陽性率が高いことから必須の検査となる
- d) 術後早期の気胸の発症は致命的であり、術前後のブラの評価は重要である
- e) 術後合併症の発生率は年齢が高いほど低い

7. LM(lymphatic malformation)について正しいものはどれか。

- a) 四肢に最も多い
- b) 生後3ヶ月頃から縮小傾向を示す
- c) 画像診断ではMRIは役に立たない
- d) 骨の過成長は起こさない
- e) 突然の増大があれば腫瘍内出血か感染を疑う

8. 乳児血管腫治療に投与されるプロプラノロール（ヘマ
ンジオル™）の副作用として認めにくいのはどれか。

- a) 低血圧
- b) 低血糖
- c) 喘鳴
- d) 頻脈
- e) 末梢冷感

9. ケロイドの好発部位として誤りはどれか。2つ選べ。

- a) 肩
- b) 手掌
- c) 耳介
- d) 前胸部
- e) 被髪頭皮

10. 児童虐待について誤りはどれか。

- a) 乳幼児の重症頭部外傷は虐待の可能性が高い
- b) 複数の外傷痕は虐待の可能性が高い
- c) 受傷機転が不自然な熱傷は虐待の可能性が高い
- d) 虐待が疑われる場合、特に2歳以下の小児では頭部CTと全身骨撮影を行う
- e) 医師の守秘義務があるので、児童相談所への通告には保護者の承諾が必要である